

協働の まちづくり

ニュース

Vol. 27
2015.12月号



平成27年度日向十五夜祭

10月10日(土)、11日(日)に県北三大祭の1つである「平成27年度日向十五夜祭」が日向十五夜祭奉賛会により開催されました。見立て細工や花屋台、夢提灯など例年以上に力が入っており、神輿の担ぎ手や十五夜踊りの踊り手も多く、とても盛大に行われました。そしてなんとといっても今年の目玉は、20年前に作られた「ねふた」の展示で、大きさとライトアップされた時の迫力に、見物客は目を奪われました。

※日向十五夜祭は「日向市市民まちづくり支援事業」の補助金を活用しています。

P 2～3 突撃／市民活動支援事業紹介

ひまわり塾ふりーとーく

○まちなかハロウィン ○メンバーインタビュー

P 4～5 新しい地域コミュニティ組織制度事業

国際交流事業

○4地区の動き ○キャメロンさん紹介

P 6～7 区長インタビュー／区公連

○GG大会 ○県自治会研修大会

P 8 日向市ひまわり基金事業

日向市地域力活用高速道路開通記念賑わい創出事業





ひまわり塾とは市内在住・在勤者を対象に、2年の期間をかけて市内における公益的な活動を担う人材の養成です。1年目を講話中心、2年目を実践中心の講座の受講となります。例年、7月から3月までの9ヶ月間にかけて、ほぼ月1回のペースで学んでいきます。受講時間は夜7時から概ね9時までの2時間となり、場所は主に市中央公民館や市民活動支援センター（さんぴあ）で行い、現地視察や県外研修等も実施します。

ステップコース(1年目受講生)甲斐悟さん



マンガ倉庫日向店に勤める甲斐さん。趣味は3年前に始めたゴルフ。なんとクラブを購入した2日後にデビューというワイルドな一面を持つものの、休日は愛娘を連れて海や公園に行く良き父親であります。

◆ひまわり塾に参加してみた感想

日向市に詳しい方との繋がりができ、さらに日向市が好きになった。今後の仕事や生活の参考にもなります。

◆今後の目標

岐阜、八代、日向という異動で今に至るが、地元延岡に近いところで働けることに運命的なものを感じる。だからこそ、日向市を盛り上げていきたいと思えます。

◆最後に一言

日向市の特色に合わせサーフボードやゴルフセットを取り扱おうのはマンガ倉庫日向店だけです。市外からの集客に力を入れ、今後も日向市に貢献していきます。

ジャンプコース(2年目受講生)田崎幸喜さん



三度の飯より車好き！いや、飯も大好き田崎さん♪休みの日は、食べ歩きならぬ食べ走り！美味しいものを求めてどこまでも～♪普段は、牧水公園で真面目にお仕事しています。東郷名物牧水そばを週5で食べてダイエット中♪

◆ひまわり塾に参加してみた感想

非常に解り易く、聞きたい・知りたいと考えている要点をしっかりと講義して頂ける為、参加して本当に良かったと感じています。

◆今後の目標

学んだ経験と知識を活かし、何かの事業やイベントの旗頭となって活動する際に、しっかりと意見や方向性をまとめ、一つの方向に進んで行けるリーダーになる。

◆日向市の好きなどころ

海・山・川と自然の3拍子が揃ったこの町は、色々な可能性を秘めた町だと思います。そんな可能性の塊である日向市が好きです。



突撃!!

まちなかハロウィン



今年で12回目を迎え、新たなイベントも大盛況で日向市を盛り上げた「まちなかハロウィン実行委員会」。その実行委員の三樹ちほみさんに突撃独占インタビューをしてみました。どうやってイベントを考えているのか、また、実施する上での苦労など、その取り組みを今回初公開!!

◆いつ、どうやってイベントを考えてるの？

毎年5月くらいから月に一度集まり、予算や内容などを話し合っていて考えていきます。

◆何人くらいで取り組んでいるの？

今年はスタッフ35人、学生ボランティア100人くらいで運営を行いました。



◆ずばり今年力を入れたところは？

今年は、新ゲーム「謎解きハウス」の実施、日向工業高校生による「ダンボールハウス」の作成、男性の実行委員を増やし、事業内容の充実を図るために実行委員の強化を行いました。

◆今回大変だったことは？

私は実行委員2年目なのですが、昨年と違う担当を受け持つことになり不安がかなりありました。また、スタッフとボランティアが増えたことで、人員の調整や取りまとめがとても大変でした。

◆来年の意気込みを一言!!

今年は、参加者が予想以上に多く、イベントに参加できない子どもや、買い物ができない子どもが出てしまいました。

来年は、今年の実省を生かし、全員が参加でき、全員が満足できるようなイベントにしていきたいです。



日向市市民まちづくり支援事業

平成27年度下半期日向市市民まちづくり支援事業の採択事業をご紹介します。



No.	団体名	代表者	事業名	区分	事業内容
1	まちなかハロウィン実行委員会	実行委員長 明神 勝彦	まちなかハロウィン2015	既存拡大	中心市街地をステージに、子ども達が主役となって「ハロウィン」をテーマに街なかでの様々な体験を通じて街を愛する「心」を育てる。
2	山田会	代表 和田 康之	映画「母と暮らせば」日向市特別上映会	継続	山田洋次監督の最新作となる原爆が投下された長崎を舞台にした「母と暮らせば」(2015年12月12日公開)を、終戦70年の節目の年に鑑賞する機会を設け、併せて、山田監督の舞台あいさつも計画する。
3	日向商工会議所女性会	代表 山本 恵子	100万人のキャンドルナイト～ひゅうがの灯り2015～	新規	地球温暖化防止活動及びエコ活動の一環として環境問題やエネルギー節約への関心を高めてもらうことと併せて、地域振興と中心市街地の活性化による世代間交流人口の増加を目的としています。
4	日向市歴史観光ボランティアガイド平兵衛さんの会	代表 松葉 藤吉	伊勢ヶ浜門前まちなかぎわい創生事業	新規	伊勢ヶ浜大御神社の門前に中古コンテナを利用した観光拠点施設「観光ガイド案内所」を開設し、観光ボランティア業務、地域産品の受託販売、観光客と地域住民の交流サロンなどを行う施設の運営を行う。また、「伊勢ヶ浜門前市」を今年から復活させ、定期開催(月1回程度)していく。
計	4団体		4事業		

平成27年8月より、本市の新たな国際交流員としてキャメロンさんが就任しました！
これから、様々な国際交流イベントや広報ひゅうがでの記事等を活用して、本市の更なる国際化に向けて頑張ってください。


プロフィールにつきましては、以下のとおりです。彼を見かけたら、気軽に声を掛けて下さい！！

●氏名 **キャメロン・アンソニー・クラーク**
(Cameron Anthony Clark)

●生年月日 1993年3月28日生(22歳)

●出身地等 国籍：アメリカ合衆国
出身地：ワシントン州ボセル市
(シアトル都市圏)

●出身校 聖オラフ大学
(ミネソタ州平成27年6月卒業 アジア学専攻)
大学3年時に早稲田大学に1年間留学
(日本近代史、環境学、俳句、短歌等も学ぶ)



■楽しい英会話教室



楽しい英会話教室もはじまり、初級2クラスと上級1クラスの3クラスで行っています。

■幼稚園・保育園の派遣事業



幼稚園・保育園を訪問し、子どもたちが英語に親しめるような活動をしています。

■BBQ&Game DE国際交流



10月31日に行った「BBQ&Game DE国際交流」では大勢の人たちとゲームとアメリカンスタイルのバーベキューで楽しみ、国際交流を深めました。

■モミラニ小学校との交流



ハワイのモミラニ小学校が日向市に来た時は一緒にもちつきを楽しみました。

◆キャメロンより一言！
皆さん、こんにちは！国際交流員のキャメロンです。
これから日向市の皆さんと色々な機会を通じて触れ合っていければと思っています。よろしくお願いします。
日向に来て、ひょうとこ祭りや十五夜祭りに参加し、まちなかハロウィンのイベントではスタッフとしてお手伝いさせていただきました。いろいろな経験をさせていただき楽しく過ごしています。
仕事でも、幼稚園・保育園の訪問、国際交流イベントの準備等、毎日が忙しく充実しています。これからも日向市の皆さんと一緒にいろいろな活動したいと思っていますので、よろしくお願いします。

十五夜祭りでは法被を着て舞踊隊に参加しました！！



◆細島地区の取り組み

【ひょうとこ祭りおもてなし】

8月1日(土)に日向ひょうとこ夏祭りにあわせて行われるモニターツアーの夕食のおもてなしを行いました。当日は約100名のツアー参加者に対して地元細島産のイワガキやサザエなどの浜焼きのほか、ごんぐりやぎよるつけ、新鮮な刺身など、細島ならではの海鮮料理を振舞いました。参加者の中には料理のレシピを聞いている方もいて、非常に好評でした。



【第五回細島芸術祭】

11月7日(土)・8日(日)に細島小学校の体育館で第五回細島芸術祭が開催されました。日向市内から約300点の作品を出展していただき、2日間で400名以上の方にご来場いただきました。青少年育成部会が作成した「アオウミガメ」など普段はあまり見ることのできない数多くの芸術作品に触れることができ、来場者の方からは「感動した」「なごい声のいただきました。」などの声がありました。



◆平岩地区の取り組み

【晴れて良かったレクリエーション】

10月18日(日)に平岩小中学校グラウンドで「平岩まちづくりレクリエーション大会」が行われました。この大会は2年に一度の開催で、平岩の9地区のチームがレクリエーションを通じて親睦を深める大会です。今年は渡辺病院のチームが加わり、合計10チームで晴天の空の下盛大に行われました。競技は幼児から高齢者まで参加できる内容となっており、世代を超えて交流が計られ、地域コミュニティの絆を強めることができました。



【年末行事が目白押し】

12月6日(日)は南日向コミュニティセンター周辺で「まつり平岩」が開催されます。まつりでは、女性舞踊隊パレードをはじめ、保育園児の和太鼓や小中学生の演芸、神輿やもちまきがありますので是非ご参加ください。
12月20日(日)は南日向コミュニティセンター前で「平岩朝市」が開催されます。しめ縄やもち米など年末の買い物を済ませてみませんか。

◆塩見地区の取り組み

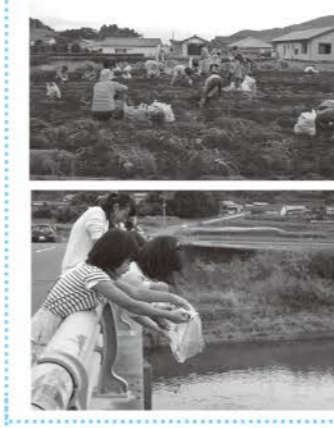
【グラウンドゴルフ大会で交流】

今年で3回目を数える「塩見地区交流グラウンドゴルフ大会」を10月18日(日)に開催しました。開会式では、地区外にも広まりつつある塩見弁ラジオ体操第一で準備運動。その後、13チーム73名がはつらつとプレーし、笑顔あふれる大会となりました。



【カライモ収穫祭&塩見川かんきょう教室】

11月7日(土)に、中村区の遊休農地を使用して栽培していたカライモを、地区の方に掘ってもらって収穫祭を行いました。一人一袋に詰め放題で持ち帰れるのですが、皆さん、破れんばかりの量を上手く詰めていました。午後からは瀬の口橋で、富島河川組合の方の指導によるシジミの放流を行いました。



◆東郷地区の取り組み

【第一回 遺跡めぐり】

11月1日(日)に、小野田地区内の史跡・文化財を訪ねる史跡めぐりを行いました。当日は、30名を超える参加があり、皆さん熱心に案内人の話に耳を傾けていました。参加者からは、「郷土の素晴らしい歴史を知ることができた」、「次回も是非参加したい」などの声をいただきました。今後も、東郷町域内に残る貴重な文化財を後世に継承していくために続けていくことにしています。



【福祉講演会の開催】

11月5日(木)に東郷公民館「さくら館」にて、福祉講演会を開催しました。講師には、潤和会記念病院の田代学氏をお招きし、「認知症の対応とその予防」と題して講演していただきました。当日は、100名近くの参加があり、一人一人が身近な問題として捉え、熱心に講話を聞いていました。みんなが考えながら、住みやすいまちづくりをしていきたいと思っています。



沖田区公連会長のあいさつから、ユーモアあふれる黒木副会長の競技説明を経て、昨年の優勝チーム遠見区による堂々とした選手宣誓により大会が始まりました。



▲ 選手宣誓

9月29日(火)に日向岬グリーンパークにおいて、「第18回日向市自治公民館対抗グラウンドゴルフ大会」が開催されました。

当日は、朝は若干の小雨があったものの開始時になると晴天に恵まれ、絶好のグラウンドゴルフ日和となり、市内64区66チームの約400名が、日ごろの腕を競い合いました。

グラウンドゴルフ大会

前号紹介しました日向市区長公民館長連合会では、いろいろな活動を行っています。今回は最近行われた活動の一部を紹介します。



▲ 優勝の堀一方Aチームの皆さん

芝が例年より長く、これまでの雨の関係もあり、球がなかなか進まないコンディションのなかでしたが、結果は、団体戦が、優勝堀一方A、準優勝石並、三位庄手、四位迎洋園、五位亀崎中となり、個人戦は優勝黒木宣子さん(庄手)、準優勝吉田昭三さん(堀一方A)、三位坂口学さん(西草場)となりました。



▲ 大会の様子

試合は、5打打ち切りの2ゲームを、1チーム6名の上位5名の合計スコアで競いました。



▲ 会場の様子

開会前には、参加者を歓迎して、会場入り口で日向十五夜太鼓の演奏を行い、会場内ではひよっとこ踊りやフラダンスのアトラクションで大会を盛り上げました。

黒木日向市長の「元氣な日向市未来創造戦略」と題した講話をはじめ日向市寺迫区のみまわりコミュニティプロジェクト事業の発表を含む県内3地区の優良事例の紹介があり、自治会活動に大いに参考となる話を聞くことができました。



▲ 視察の様子

翌日は、市外の自治会長さんたちが、日向岬、大御神社などを視察し、日向の観光名所を堪能されました。



▲ 黒木邦寛寺迫区長のひまわりコミュニティプロジェクトの発表

編集後記

▼本誌は、係員4名で担当を決めて記事を作成しています。いろいろなアイデアがそれぞれから出て、とても勉強になります。今後も、係員一同協力し合い、わかりやすく、皆さんに親しみをもってもらえるような紙面にしていきたいと思います。(い)

このコーナーは、以前「おらが村～区長インタビュー」と題して、各区の区長さんにインタビューをし、地元の魅力を語っていただいていたコーナーを、新たに「おひさま通信」として復活させたものです。復活第1弾は、財光寺地区の向洋台区、南部地区の幸脇区の区長さんに各区の取り組みや見どころなどを教えていただきました。ご協力いただいた日高区長、三木区長ありがとうございました！

向洋台区 区長 日高辰彦さん



Q. 向洋台区はどんなところですか？

—(区長) 高速道路日向ICから北西に1km程行った高台にあります。のぼり口には、桜が植えられており、春には美しい桜並木を見ることが出来ます。最近、公園にも18本植えられました。今から成長が楽しみです。

また、高台であることから見晴らしがよく、日向市内の花火大会を見ることが出来るほどです。

Q. 向洋台区の取り組みを教えてください。

—(区長) 例年夏祭りを開催しています。今年はいにく雨の中での開催でしたが、みんなが「どうにかしてやろう!」と、協力しあって団結が深まりました。

また、区民総出の清掃活動をしています。昨年までは年2回だったのですが、参加機会を増やすために今年は年3回にしました。地区の公園の花壇に、高



清掃活動は道路沿いの側面も行います。



今年の夏祭りの写真は雨で撮れなかったのですが、毎年屋台も出します。

齢者クラブや育成会で花を植えるなどの、世代間交流の活動もしています。このような行事への参加をきっかけにして、地域の大人と子どもが顔見知りになりたりしているようです。清掃活動などはまちをきれいにするための行事ではあるのですが、交流する機会としてもらえたら、と思っています。

ほかにも、隣の秋山区との交流も行っています。今年は敬老会を一緒にしましたが、参加者から大変喜ばれました。

向洋台区も高齢化が進んでいます。福祉部を新設し、高齢者世帯の見守り活動の準備をしています。協力し合うことで、住みやすい地区になってもらえたら、と思います。

幸脇区 区長 三木修一さん



Q. 幸脇区はどんなところですか？

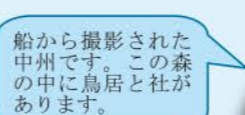
—(区長) 市中心部から南に約11km程行った、海や山に囲まれた地区です。すばらしいところが沢山あるので、地区の皆さん、特に子どもたちに、地区の良いところをもう一回見なおしてもらいたいと思っています。

しかし、地区の中心にある幸脇小学校の閉校が決まり、子ども達とのふれあいが減ってしまっているのではないかと心配をしています。そのため、日向市内で唯一幸脇小だけで活動していた「緑の少年団」を、区の組織として残していきたいと検討しています。

Q. 幸脇区のおすすめスポットを教えてください。

—(区長) 「権現崎公園」と「厳島神社」です。

「権現崎公園」は遊歩道整備を行っているので、散策するこ



た森が居ることから、このように立派な社が建っています。

遊歩道を通して散策することができます。



「厳島神社」は耳川の中州にあり、地元では「弁天様」と呼ばれ親しまれてきました。浸水被害が多い立地であるにもかかわらず、社は被害をまぬがれ続けていることから「不沈神社」とも言われ、パワースポットとして注目されつつあります。

日向市ひまわり基金事業市民活動助成事業のご案内



市民活動助成事業

公益的な市民活動団体が取り組む、まちづくり（環境美化、防犯、住民間交流など）、人づくり、ものづくり、学習活動などの事業に対して助成します。

助成の額は、事業を実施するために必要な助成対象費用の4分の3以内とし、審査の結果、1事業あたり15万円を限度として交付します。

申請の要件は、

- ①公益性・公開性のある事業であること。
- ②市内で実施されること。
- ③市から同様の助成・補助を受けていないこと。
- ④1団体、当該年度1回限り。

となっています。なお、事業実施1か月前までに申請を行ってください。

事業や募集に関して不明な点、ご相談などございましたら、お気軽に市役所地域コミュニティ課までお問い合わせください。

[問合せ先]

日向市役所地域コミュニティ課（教育別館1階）
TEL 0982-52-2111（内線6251）

★今年度の事業例

■台湾・日向国際交流第5回演奏会



平成27年7月5日(日)に台湾・日向国際交流第5回演奏会が開催されました。今年で5回目となるこの演奏会は、台湾の合唱団と日向市の音楽文化団体が演奏などを通して、国際交流に対する意識を向上させることを目的としています。演奏会当日はたくさんの方にご来場いただき、出演者と合わせて400名以上の方で国際文化交流ができました。

■なりきり道中 ころろ旅

～牧水をとおして、自然と自分を知る旅へ～



平成27年11月3日(火)に「なりきり道中 ころろ旅～牧水をとおして、自然と自分を知る旅へ～」が開催されました。参加者は、着物や山高帽、杖、わらじなどを身に付け、生家や歌碑など牧水所縁の地を散策しました。牧水の姿になりきり、牧水を育んだ自然環境のなか、食や短歌づくりなどの体験を通して「牧水の故郷」を満喫できる内容でした。

日向市地域力活用高速道路開通記念賑わい創出事業 平成27年度企画提案事業を募集中

高速道路開通記念賑わい創出事業



東九州自動車道（以下「高速道路」という。）の開通による日向市の賑わい創出、集客交流の大幅な増大、市産品の販売拡大、情報発信を図る事を目的として、市民自らが企画し運営する新規事業に対して支援する「日向市地域力活用高速道路開通記念賑わい創出事業」を昨年度から実施しています。

平成28年度までの3ヶ年限定の事業となりますので、高速道路開通による日向市の賑わい創出のために、新たな事業をご提案ください。

●応募できる団体

- (1) 市内に活動拠点を有する非営利活動団体（NPO法人、市民団体、ボランティアグループ、自治会等）であること。
- (2) 5人以上の会員で組織していること。
- (3) 組織の運営に関する規約等があること。
- (4) 宗教活動や政治活動を行う団体ではないこと。
- (5) 暴力団の構成員が団体の会員になっていないこと。

●募集事業の内容

高速道路の開通を盛り上げる以下の新規事業

- (1) 市・地域の特色を生かした市への集客交流を図る事業など。
- (2) 市・地域のイメージアップや情報発信につながる事業など。

※その他、内容についてはご相談ください。

●事業の補助率、補助金交付限度額

- (1) 補助限度額＝250万円
- (2) 補助率＝4/5以内

●提出書類

- ①補助金交付申請書
- ②事業計画書
- ③収支予算書
- ④団体概要書
- ⑤団体の運営に関する規約等
- ⑥会員名簿
- ⑦その他市長が必要と認める書類

●応募期限

随時（事業実施日の概ね1か月前まで）

●提出及び問合せ先

事業や募集に関して不明な点がございましたら、お気軽に地域コミュニティ課（☎52-2111 内線6251）までお問い合わせください。



←平成27年5月3日～4日で開催された「カッキある細島魅力発信フェスティバル」の様子

日向市 協働のまちづくり

検索

発行/平成27年12月1日

日向市総合政策部 地域コミュニティ課 〒883-8555 日向市本町10番5号
TEL 52-2111(内線6251) FAX 56-0018

協働のまちづくりニュース 12月号